

～わくわく農場体験～



↑生徒が中心となり収穫作業を行いました

能代西高校の生徒達でつくる『NPO法人アグリファームのしろ』が10月29日に同校で「わくわく農場体験」を開催しました。この「アグリファームのしろ」は、地域住民との交流や地域貢献活動などに柔軟に展開することを目的に設立され、今回の農場体験は4回目の開催となります。

この日は、能代西高農場でねぎの収穫体験や牛やポニーなどを飼育している畜舎の紹介、生徒達が手がけている作物の栽培方法、学校行事などの説明をしました。

その後、“西高産”のあきたこまちやねぎ、比内地鶏などを使用しただまこ鍋づくりも行われ、参加した地域住民は能代西高校ならではのイベントを楽しみました。



↑地域住民、西高生徒みんなで楽しくだまこ鍋づくり



↑活動紹介も行いました



～高校生の農業を学ぶ会～



管内の高校生を対象に、山本地域振興局農林部が主催となって行っている「平成28年度高校生の農業を学ぶ会」が10月28日に開催され、生物資源系列2年生の生徒が、八峰町の松岡食品と日本白神水産株式会社を訪れました。

松岡食品では、豆腐加工施設の視察や豆腐づくりを体験しました。地元産大豆の「リュウホウ」を使った豆腐作りに挑戦し、その後試食も行いました。また、日本白神水産では、養殖のあわびについて15℃の水温が適温や出荷まで5年もの時間がかかることなどが説明されたほか、付加価値の高い商品作りを進めていることも話され、生徒達は熱心に担当者の話を聞いていました。

～産業フェアに参加～



のしろ産業フェアが10月22日と23日の2日間、能代市総合体育館で開催され、多くの来場者でにぎわいました。

今年は屋内に35のブースが立ち並び、各種企業や団体の商品の展示・販売が行われました。能代西高校は、秋田県高等学校産業教育フェアとして参加し、西高農場で栽培している野菜や花、大人気の白神ネギドレッシングなどを販売しました。西高生の元気な声でブースの前にはたくさんの方が集まり、商品も次から次へと売れていきました。

生産から加工、販売までの6次産業化を学ぶ生徒達は今回の産業フェアでその重要性についてさらに深く学びました。